



公益社団法人 日本都市計画学会中部支部
2022年度通常総会

総 会 次 第

1. 報 告

1.1 2021年度事業報告	1
1.2 2021年度収支報告	7

2. 議 案

2.1 2022年度事業計画(案)	8
2.2 2022年度役員選出(案)	10

日 時 2022年4月2日(土) 13:30~14:30

場 所 名古屋都市センター11階ホール

(愛知県名古屋市中区金山一丁目一番一号)

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、対面(会場)とオンライン(Zoom)によるハイブリッド形式で開催

公益社団法人日本都市計画学会中部支部

1. 報告

1.1 2021年度事業報告

(1) 総会

日 時：2021年4月3日(土)13：30～14：15
場 所：名古屋都市センター14階特別会議室+オンライン(愛知県名古屋市)
議 題：1.2020年度事業報告
2.2020年度収支報告
3.2021年度事業計画(収支計画含む)
4.2021年度役員選出
【出席者：31名、委任状：78名、計：109名(定足数：72名)】

(2) 幹事会

①第136回幹事会

日 時：2021年7月17日(土) 12：00～12：45
場 所：名古屋都市センター14階特別会議室+オンライン
参 加 者：出席26名、委任状0名
議事概要：本部総会・第2・3回理事会ならびに中部支部の各委員会の報告の後、10月に開催予定の中部支部研究発表会、2021年度全国大会、今年度の検討事項などについて検討した。

②第137回幹事会

日 時：2021年10月8日(金)11：30～12：00
場 所：オンライン
参 加 者：出席21名、委任状7名
議事概要：中部支部の各委員会の活動報告、当日に開催中の支部研究発表会及び公開シンポジウムの報告、今後の予定について検討した。

③第138回幹事会

日 時：2022年1月28日(金)13：00～14：00
場 所：名古屋都市センター13階会議室+オンライン
参 加 者：出席20名、委任状2名
議事概要：議事に先立ち、令和3年度の研究発表会優秀講演者表彰を豊橋技術科学大学 秦 瑞希氏、岐阜大学 谷口史織氏に対して行った。
第5回理事会、次年度の各委員会・研究小委員会の体制、各委員会からの報告、令和4年度の事業計画(案)と予算(案)、令和4年度総会、令和4年度支部研究発表会について検討した。

④第139回幹事会

日 時：2022年3月18日(金)～3月24日(木)
場 所：メール審議
参 加 者：幹事32名
議事概要：令和4年度の総会議案について審議し承認した。

(3) 2021年度(第32回)中部支部研究発表会・研究活動交流会(公開シンポジウム)

日 時：2021年10月8日(金)9：48～16：30
場 所：オンライン+富山大学

①研究発表会【参加者：89名】

発表件数 : 15編 (口頭発表) 2編 (ポスター発表)

優秀講演者: 豊橋技術科学大学 秦 瑞希

共 著 者: 浅野純一郎 (同)

講演題目:「地方都市の中心市街地における小中学校を活用した都市再生手法に関する研究」

優秀講演者: 岐阜大学 谷口史織

共 著 者: 出村嘉史 (同)

講演題目:「近代大垣の商工者と産業基盤経営」

②公開シンポジウム【参加者:75名】

テーマ:「まちなか活性化と大学 - 建物リノベーションによる学生シェアハウスの開設を話題に-

発表者: 川崎隆人 富山市活力都市創造部中心市街地活性化推進課
「富山市の中心市街地活性化の取り組み」

久保田善明 富山大学

京田憲明 富山市民プラザ

「富山市内に開設を予定する学生シェアハウス計画の概要」

五十嵐眞二 東北芸術工科大学

「東北芸術工科大学準学生寮プロジェクト」

コーディネーター: 猪井博登 富山大学

(4) 講演会/見学会

①講演会

日 時: 2021年4月3日(土) 14:30~15:30

場 所: 名古屋都市センター14階特別会議室+オンライン

出席者: 36名

題 目: スーパーメガリージョンと街づくり

講 師: 名古屋都市センター長 奥野信宏 氏

(5) 国際交流講演会・研究会(国際交流委員会)

日時: 2022年3月14日(月) 14:00~16:00

方法: オンライン(Zoom)

出席者: 12名

「第8回留学生・若手外国人研究者交流セミナー」をオンライン(Zoom)で実施した。12名の参加(発表者を含む)があり、タイ、中国、ミャンマーの若手研究者4名から発表が行われた。個々の発表及び簡単な質疑応答、そして、全体討論を行った。また、セミナー開催後には、有志でオンライン交流会を行った。

(6) 都市計画行政における官学連携研究会(行政連携委員会)

日 時: 2022年1月28日(金) 14:30~17:00

会 場: 名古屋都市センター 14階 特別会議室 (オンライン併用)

参加者: 会場 14名, オンライン 43名

内 容:

【講演1】都市計画分野におけるDXの潮流~持続可能なデータドリブンのまちづくりに向けて~

東京大学空間情報科学研究センター教授 関本義秀 氏

(一般社団法人 社会基盤情報流通推進協議会代表理事)

【講演2】浜松市のデジタル・スマートシティの取組~国土縮図型都市・浜松の挑戦~

浜松市デジタル・スマートシティ推進事業本部専門監 瀧本陽一 氏
<討 論>
テーマ：「まちづくり（都市計画）における DX は定着するのか？」
コーディネーター：鈴木 温 委員（名城大学教授）

(7) 各委員会

①企画総務委員会

○委員会の開催

■第1回委員会

日 時：2021年6月15日(火) 18:30～20:00

場 所：オンライン

議事概要：本部総会・第2・3回理事会ならびに中部支部の各委員会の報告の後、研究活動委員会の支部HP掲載情報案、過去の支部研究発表会論文集の公開方法案、10月に開催予定の中部支部研究発表会、2021年度全国大会、今年度の検討事項などについて検討した。

■第2回委員会

日 時：2021年9月24日(金) 19:00～20:30

場 所：オンライン

議事概要：中部支部の各委員会の報告の後、支部HPの内容更新、支部研究発表会論文のJ-Stage掲載、10月に開催予定の中部支部研究発表会について検討した。

■第3回委員会

日 時：2021年12月7日(火) 19:00～20:00

場 所：オンライン

議事概要：中部支部の各委員会の報告の後、次年度の事業計画（案）及び予算（案）として、支部通常総会及び講演会（案）、支部研究発表会・研究活動交流会（案）について審議した。

■第4回委員会

日 時：2022年3月7日(火) 19:00～20:00

場 所：オンライン

議事概要：中部支部の各委員会の報告の後、次年度の事業計画（案）及び予算（案）として、支部通常総会及び講演会（案）、支部研究発表会・研究活動交流会（案）について審議した。

○支部トピックス編集(秀島)

松本幸正（名城大学・前支部長）

「中部支部創設 30 周年記念事業を終えて」

秀島栄三（名古屋工業大学）

「中川運河再生計画と世界運河会議 NAGOYA2020」

鶴田佳子（岐阜工業高等専門学校）

「オンライン公開シンポジウム ー立地適正化計画は災害危険エリアとどう向き合うか？」

猪井博登（富山大学）

「第 32 回中部支部研究発表会・シンポジウム」

矢野 孝幸（(公財)名古屋まちづくり公社 名古屋都市センター／日本都市計画学会 中部支部事務局）

「新たな時代のまちづくりの交流拠点へ-名古屋都市センター設立 30 周年を迎えて-」

②行政連携委員会

■第1回委員会

日時：6月21日（月）14：00～15：30

場所：名古屋都市センター会議室 + オンライン

出席者：9名

議事概要：まちづくりプラットフォームの運用（窓口名簿の確認、有識者情報の更新、運用における課題等）、第19回都市計画行政に関する官学連携研究会の開催概要等（開催日程、テーマ等）、今年度委員会運営方針および開催日程について検討を行った。

■第2回委員会

日時：9月7日（火）10：00～11：45

場所：名古屋都市センター会議室 + オンライン

出席者：9名

議事概要：まちづくりプラットフォームの運用（窓口名簿の確定、有識者情報の更新、運用規程の改正等）、第19回都市計画行政に関する官学連携研究会の開催概要（議題・テーマ、内容、講演者等）について検討を行った。

■第3回委員会

日時：11月24日（水）13：30～15：00

場所：名古屋都市センター会議室 + オンライン

出席者：10名

議事概要：まちづくりプラットフォームの運用（有識者情報の更新、運用規程の改正）、第19回都市計画行政に関する官学連携研究会のプログラム、案内・設営、および役割等について検討を行った。

③国際交流委員会

2021年12月以降、メール審議を通して、「第8回留学生・若手外国人研究者交流セミナー」の企画について議論を行い、内容を決定した。

④情報管理委員会

支部研究発表会論文集のJ-Stage掲載を適宜進めた。また、支部HPの更新・調整を実施した。

⑤研究活動委員会

地域再生まちづくり小委員会

■第1回研究小委員会

日時：2021年4月20日（火）18:00～19：40

場所：オンライン

出席者：10名

議事概要：7月開催予定のシンポジウムのテーマおよび講演者の検討を行った。

■第2回研究小委員会

日時：2021年5月20日（木）13:30～17:00

場所：オンライン

出席者：10名

議事概要：7月開催のシンポジウムの進め方について検討し、スケジュールおよび当日の役割分担等を決定した。

■第3回研究小委員会

日時：2021年11月18日（木）18:30～19:10

場所：オンライン

参加者：8名

議事概要：7月シンポジウムの振り返りを行うとともに、見学会および勉強会の実施について検討した。

■第4回研究小委員会

日時：2022年3月29日（火）17:00～18:40

場所：一宮駅iビル 小会議室

参加者：6名

議事概要：見学会後の意見交換と2022年度活動計画について検討を行った。

■公開シンポジウム「立地適正化計画は災害危険エリアとどう向き合うか？」

日時：2021年7月17日（土）13:30～17:00

場所：オンライン（Zoom を活用したYou Tube配信で開催）

参加人数：事前参加登録者336名、You Tube視聴者202名（最大同時接続数）

■勉強会「立地適正化計画策定後の検証と改正への反映」

日時：2021年12月23日（木）18:00～19:50

場所：オンライン

参加者：6名

話題提供：岐阜市都市計画課

■見学会「一宮市内近代遺産活用事例視察」

日時：2022年3月29日（火）

参加者：7名

概要：近代遺産活用事例としてノコギリ屋根工場+せんい団地（渋ビル）を視察

公共交通研究小委員会

■第1回 研究小委員会

日時：2021年6月30日（水）18:00～19:45

場所：オンライン

参加者：15名

概要：第3期公共交通研究小委員会の活動計画や本年度開催予定のシンポジウム、国土交通省中部運輸局からの調査事業協力などを議論した後に、各メンバーからの今年度の研究計画を議論した。

■第1回 新型コロナ調査部会

日時：2021年7月16日（金）18:00～20:00

場所：ハイブリッド（都市センター会議室とZoom）

参加者：9名

概要：研究小委員会の有志メンバーにより調査部会を構成し、運輸局の予定する新型コロナウイルス感染症拡大前後における移動需要の変化等に関わる調査について、調査方針について助言した。

■第2回 新型コロナ調査部会

日時：2021年10月1日（金）17:00～19:00

場所：ハイブリッド（都市センター会議室とZoom）

参加者：10名

概要：運輸局の予定する新型コロナウイルスに関する調査について、調査対象地域、調査票について助言した。

■第2回 研究小委員会

日時：2021年10月7日（木）18:00～20:00

場所：オンライン

参加者：12名

概要：本年度シンポジウムの登壇者やテーマについて議論した。また、第3回研究小委員会にてゲストスピーカーとして（一社）Do It Yourselfの東善朗氏に話題提供を依頼することになった。さらに、メンバーから研究内容の進捗報告があった。

■第3回 研究小委員会

日時：2021年12月23日（木）18:00～20:00

場所：オンライン

参加者：15名

概要：ゲストスピーカーの（一社）Do It Yourselfの東善朗氏に「公共交通の存続問題などを交通面からではなく他の切り口で取り上げる活動」について話題提供いただき意見交換した上で、1/12開催のシンポジウムの登録状況の確認があった。

■公開シンポジウム

日時：2022年1月12日（水）13:30～16:30

場所：ハイブリッド（ウイックあいちとZoomを活用したYou Tube配信）

参加者：109名（現地・オンライン参加併せて）

概要：公開シンポジウム「公共交通ビッグデータのオープン化に関する期待と課題」を開催した。伊藤昌毅東京大学准教授の基調講演の後に、「公共交通ビッグデータのオープン化に関する期待と課題」について、行政、交通事業者、コンサルタント、学識経験者でパネルディスカッションを行った。

■第3回 新型コロナ調査部会

日時：2022年3月11日（金）18:00～20:00

場所：オンライン

参加者：12名

概要：運輸局の予定する新型コロナウイルスに関する調査について、調査結果の解釈やそれを元にした今後の公共交通利用促進のあり方などを議論した。

■第4回 公共交通研究小委員会

日時：2022年3月24日（木）18:00～20:00

場所：ハイブリッド（都市センター会議室とZoom）

参加者：11名

概要：来年度の公共交通研究小委員会のテーマについて議論するとともに、各メンバーからの本年度の研究成果について意見交換を行った。

1.2 2021年度収支報告

(事業項目別)

自 2021年4月1日

至 2022年3月31日

収入の部

(単位:円)

	予算額	決算額	差額	備考
支部交付金	997,000	997,000	0	
文献収入	60,000	13,480	46,520	送料含む
論文審査料収入	40,000	30,000	10,000	2,000円/件
講習会収入	0	190,960	▲190,960	新型コロナ調査部会
積立金取り崩し	0	0	0	
受取利息	0	2	▲2	預金利息
雑収入	0	17,048	▲17,048	源泉税預り金
収入合計	1,097,000	1,248,490	▲151,490	

※3/11開催の「新型コロナ調査部会」の講習会収入費(73,920円)を含む

なお、口座への入金は4月中旬を予定

支出の部

(単位:円)

		予算額	決算額	差額	備考
事業費	国際交流委員会費	80,000	0	80,000	
	行政連携委員会費	80,000	48,818	31,182	旅費交通費、諸謝金
	研究活動費	230,000	269,081	▲39,081	旅費交通費、諸謝金、等
	研究発表会費	225,000	34,928	190,072	消耗品費、表彰費、等
	創立周年記念	0	0	0	
	講演会費	30,000	22,274	7,726	諸謝金
	幹事会費	200,000	10,000	190,000	旅費交通費
	共通経費	132,000	278,770	▲146,770	消耗品費、通信運搬費、等
管理費	支部総会費	20,000	0	20,000	
支出合計		997,000	663,871	333,129	

2021年度残額 = 収入合計 - 支出合計

=1,248,490円 - 663,871円 = 584,619円

2. 議案

2.1 2022年度事業計画(案)

(1) 支部通常総会

日 時：2022年4月2日（土）13:30～14:30
場 所：名古屋都市センター11階ホール+オンライン

(2) 幹事会

第140回 幹事会(7月) シンポジウム開催時
第141回 幹事会(10月) 支部研究発表会開催時
第142回 幹事会(1月) 都市計画行政における官学連携研究会開催時
メール審議 随時

本部理事会の報告、各委員会の活動状況報告、次年度予算などの議決事項、次年度事業計画(案)の作成などを行う。

企画総務委員会(6月、9月、12月、3月を予定)

構成メンバーは、支部長、副支部長、各委員会の委員長、発表会実行委員長
各委員会の調整、予算、事業計画案の作成業務、他諸雑務

(3) 2022年度(第33回)支部研究発表会・研究活動交流会

日 時：2022年10月7日(金)
午前 研究発表会
午後 研究活動交流会
会 場：中部大学(春日井市)

(4) 講演会／見学会

①講演会（総会終了後）

日 時：2022年4月2日（土）14:30～15:30
場 所：名古屋都市センター11階ホール+オンライン
講 師：錦二丁目エリアマネジメント株式会社代表取締役 名畑 恵氏
演 題：「～構想をうごきに、うごきを仕組みに～」

②見学会

日 時：(未定)
見学先：(未定)

③公開シンポジウム

日 時：2022年7月頃(予定)
場 所：(未定)
実 施：公共交通研究小委員会

④ミニ講演会

日 時：未 定(幹事会終了後など)
場 所：名古屋都市センター会議室+オンライン(Zoom)
講師等：未 定

(5) 国際交流講演会・研究会(国際交流委員会)

日 時：2023年3月(予定)
場 所：名古屋都市センター11階ホール(予定)
講師等：未 定

(6) 都市計画行政における官学連携研究会(行政連携委員会)

日 時：2023年1月(予定)
場 所：名古屋都市センター11階ホール(予定)

(7) 各委員会

①企画総務委員会

- ・構成メンバー：支部長、副支部長、各委員会委員長、支部研究発表会前年度開催担当校委員(7月委員会まで)・今年度開催担当校委員
- ・開催場所：名古屋都市センター13階 AB 会議室、開催日：未定
- ・開催時期：6月、9月、12月、3月頃を予定
- ・内容：中部支部の企画・運営全般、及び会計・総務などの事務的作業を行う。幹事会の運営を行う。
- ・本部発行の機関誌『都市計画』の「支部トピックス」を通じて、支部活動や支部管内の都市計画事情について広報する。

②行政連携委員会

- ・開催場所：名古屋都市センター 会議室、開催日：未定
- ・「まちづくりプラットフォーム」(有識者紹介システム)の運用を継続するとともに、中部7県、3政令市および中部地方整備局の都市計画担当者と行政連携委員会委員等による「都市計画行政に関する官学連携研究会」の開催内容等を検討する。

③国際交流委員会

- ・開催場所：未定、開催日：未定
- ・海外都市計画研究者を招いた講演会・研究会、もしくは留学生等の国際交流セミナーの開催内容等を検討する。

④研究活動委員会

「集約型都市構造への転換とそのプロセス・プランニングの構築に向けて」をテーマとして、以下の2つの小委員会が研究活動を実施する。その成果に基づきシンポジウム等の開催の検討、報告書の発行を行う。

地域再生まちづくり小委員会

- ・開催場所：未定、開催日：未定
- ・内容：研究活動内容の検討、進捗状況の報告等
- ・公開シンポジウムの企画・運営について検討する。

公共交通研究小委員会

- ・開催場所：未定、開催日：未定
- ・内容：研究活動内容の検討、進捗状況の報告等

⑤情報管理委員会

- ・開催場所：未定、開催日：未定
- ・支部 HP を更新する
- ・支部研究発表会論文の J-Stage 登録を行う
- ・過去の発表会論文のデジタル化・公開方法の検討

2.2 2022年度役員選出(案)

(※幹事は五十音順)

- 支 部 長 : 浅野 聡 (三重大学大学院工学研究科 教授)
副支部長 : 秀島 栄三(名古屋工業大学大学院工学研究科 教授)
副支部長 : 浅野純一郎(豊橋技術科学大学建築・都市システム学系 教授)
幹 事 : 猪井 博登(富山大学都市デザイン学部 准教授)
幹 事 : 今村 洋一(椋山女学園大学文化情報学部 准教授)
幹 事 : 牛山健太郎(㈱テイコク 主査)
幹 事 : 小倉 俊臣(玉野総合コンサルタント(株) 技術課長)
幹 事 : 小野 悠 (豊橋技術科学大学建築・都市システム学系 准教授)
幹 事 : 神谷 貴浩(中央コンサルタント(株) 主任)
幹 事 : 川口 暢子(愛知工業大学工学部 講師)
幹 事 : 川本 義海(福井大学大学院工学研究科 教授)
幹 事 : 倉内 文孝(岐阜大学工学部 教授)
幹 事 : 佐藤 雄哉(豊田工業高等専門学校環境都市工学科 准教授)
幹 事 : 塩土 圭介(㈱日本海コンサルタント 室長)
幹 事 : 嶋田 喜昭(大同大学工学部 教授)
幹 事 : 鈴木 温 (名城大学理工学部 教授)
幹 事 : 玉木 利幸(㈱中村組 顧問)
幹 事 : 沈 振江 (金沢大学理工研究域 教授)
幹 事 : 坪井 志朗(豊橋技術科学大学建築・都市システム学系 助教)
幹 事 : 鶴田 佳子(岐阜工業高等専門学校建築学科 教授)
幹 事 : 出村 嘉史(岐阜大学社会システム経営学環 教授)
幹 事 : 中村 一樹(名城大学理工学部 准教授)
幹 事 : 樋口 恵一(大同大学工学部 准教授)
幹 事 : 福島 茂 (名城大学都市情報学部 教授)
幹 事 : 福本 雅之(名古屋大学 客員准教授)
幹 事 : 眞島 俊光(㈱日本海コンサルタント 担当グループ長)
幹 事 : 益尾 孝祐(愛知工業大学工学部 講師)
幹 事 : 松尾幸二郎(豊橋技術科学大学建築・都市システム学系 准教授)
幹 事 : 松本 幸正(名城大学理工学部 教授)
幹 事 : 松山 明 (中部大学工学部 准教授)
幹 事 : 三寺 潤 (福井工業大学環境情報学部 教授)
幹 事 : 三村 泰広(豊田都市交通研究所 主幹研究員)
幹 事 : 山岡 俊一(豊田工業高等専門学校環境都市工学科 教授)
幹 事 : 吉村 輝彦(日本福祉大学国際福祉開発学部 教授)
幹 事 : 吉村 朋矩(福井工業大学工学部 准教授)

事 務 局 : 公益財団法人名古屋まちづくり公社名古屋都市センター

<<参 考>>

以下の顧問・特任幹事は、幹事会において選出。会長アドバイザー会議中部支部メンバーは支部長による本部への推薦。

■顧問

伊豆原浩二(愛知工業大学工学部客員教授)
磯部 友彦(中部大学工学部教授)
市橋 忠幸(大同コンサルタンツ(株)名古屋支店長)
浦山 益郎(三重大学名誉教授)
片木 篤 (名古屋大学名誉教授)
瀬口 哲夫(名古屋市立大学名誉教授)
竹内 伝史(岐阜大学名誉教授)
田部井伸夫(玉野総合コンサルタント(株)取締役会長)
廣島 康裕(豊橋技術科学大学名誉教授)

(以上、五十音順)

■特任幹事

福岡 正樹(愛知県都市・交通局都市基盤部都市計画課主査)
倉知 正行(名古屋市住宅都市局都市計画課総括係長)
中野 優 (名古屋まちづくり公社名古屋都市センター調査課研究員)

■2022年度 会長アドバイザー会議 中部支部メンバー

浅野 聡 (三重大学大学院工学研究科教授)
浅野純一郎(豊橋技術科学大学建築・都市システム学系教授)
倉内 文孝(岐阜大学工学部教授)
嶋田 喜昭(大同大学工学部教授)
秀島 栄三(名古屋工業大学大学院工学研究科教授)
福島 茂 (名城大学都市情報学部教授)
松本 幸正(名城大学理工学部教授)
吉村 輝彦(日本福祉大学国際福祉開発学部教授)

(以上、五十音順)

<<参 考>> 2022 年度 収支計画(案) (事業項目別)
自 2022 年 4 月 1 日 至 2023 年 3 月 31 日

収入の部

(単位：円)

項目	22 年度予算額	21 年度予算額	備考
支部交付金	968,000	997,000	
文献収入	10,000	60,000	
論文審査料収入	40,000	40,000	
積立金取り崩し	0	0	
収入合計	1,018,000	1,097,000	

支出の部

(単位：円)

項目	22 年度予算額	21 年度予算額	備考
国際交流委員会費	80,000	80,000	諸謝金、旅費交通費、等
行政連携委員会費	90,000	80,000	諸謝金、旅費交通費、等
研究活動費	270,000	230,000	会議費、旅費交通費、等
研究発表会費	165,000	225,000	会議費、旅費交通費、等
創立周年記念	0	0	
講演会費	30,000	30,000	諸謝金、旅費交通費、等
幹事会費	200,000	200,000	会議費、旅費交通費、等
共通経費	123,000	132,000	消耗品費、委託費、等
支部総会費	10,000	20,000	旅費交通費、印刷製本費
支出合計	968,000	997,000	

※特定費用準備金(35 周年記念事業の積立)

活動事業の名称・事業番号	35 周年記念事業	
当該事業の担当委員会等	中部支部	
当該活動内容	2025 年度に中部支部創立 35 周年を迎え、記念事業として「コンパクト・プラス・ネットワーク型都市の検証」に関するシンポジウムを開催する。	
当該活動の開始年度	2021 年度	
〃 終了年度(予定)	2024 年度	
積立限度額の算定方法	【開催費用】 400,000 円 内訳：シンポジウム(会場費、講師謝金等) 15 万円 シンポジウム配布小冊子(印刷費等) 25 万円 【積立限度額】 400,000 円	
積立計画	2021 年度予算	100,000 円積立
	2022 年度予算	100,000 円積立
	2023 年度予算	100,000 円積立
	2024 年度予算	100,000 円積立

<<参 考>>

○2022 年度委員会名簿

◎：委員長、○：委員

番号	役職	氏名	所属	所属役職	企画総務委員会	行政連携委員会	国際交流委員会	情報管理委員会	研究活動		支部発表会	
									地域再生まちづくり	公共交通研究	前年度	今年度
1	支部長	浅野 聡	三重大学	教授	◎				○			
2	副支部長	秀島栄三	名古屋工業大学	教授	○	○	○					
3	副支部長	浅野純一郎	豊橋技術科学大学	教授	○				○			
4	幹事	嶋田喜昭	大同大学	教授	○	◎				○		
5	幹事	吉村輝彦	日本福祉大学	教授	○		◎					
6	幹事	佐藤雄哉	豊田工業高等専門学校	准教授	○			◎	○			
7	幹事	鶴田佳子	岐阜工業高等専門学校	教授	○				◎			
8	幹事	倉内文孝	岐阜大学	教授	○					◎		
9	幹事	猪井博登	富山大学	准教授	○					○	◎	
10	幹事	松山 明	中部大学	准教授	○							◎
11	幹事	今村洋一	椛山女学園大学	准教授					○			
12	幹事	牛山健太郎	㈱テイコク	主査						○		
13	幹事	小倉俊臣	玉野総合コンサルタント㈱	技術課長						○		
14	幹事	小野 悠	豊橋技術科学大学	准教授			○		○			
15	幹事	神谷貴浩	中央コンサルタント(株)	主任		○						
16	幹事	川口暢子	愛知工業大学	講師					○			
17	幹事	川本義海	福井大学	教授						○		
18	幹事	塩土圭介	㈱日本海コンサルタント	室長						○		
19	幹事	鈴木温	名城大学	教授		○						
20	幹事	玉木利幸	㈱中村組	顧問		○						
21	幹事	沈 振江	金沢大学	教授			○					
22	幹事	坪井志朗	豊橋技術科学大学	助教				○	○			
23	幹事	出村嘉史	岐阜大学	教授					○			
24	幹事	中村一樹	名城大学	准教授			○					
25	幹事	樋口恵一	大同大学	准教授				○		○		
26	幹事	福島 茂	名城大学	教授			○					
27	幹事	福本雅之	名古屋大学	客員准教授						○		
28	幹事	眞島俊光	㈱日本海コンサルタント	リーダー					○			
29	幹事	益尾幸祐	愛知工業大学	講師					○			
30	幹事	松尾幸二郎	豊橋技術科学大学	准教授						○		
31	幹事	松本幸正	名城大学	教授						○		
32	幹事	三寺 潤	福井工業大学	教授		○		○				
33	幹事	三村泰広	豊田都市交通研究所	主幹研究員		○				○		
34	幹事	山岡俊一	豊田工業高等専門学校	教授						○		
35	幹事	吉村朋矩	福井工業大学	准教授				○				
36	特任幹事	福岡正樹	愛知県都市計画課	主査		○						
37	特任幹事	倉知正行	名古屋市都市計画課	総括係長		○						
38	特任幹事	中野 優	名古屋都市センター	研究員		○						
39	顧問	竹内伝史	地域問題研究所	理事		○						
40	協力委員	野嶋慎二	福井大学	教授					○			

<<参 考>>

○委員会の人員構成ならびに定員の考え方

- ・ 各委員会の委員の定員を、下表のように定める。ただし、定員は目安であり、多少の増減を認める。
- ・ 各委員会の委員は、同時に支部幹事となる。ただし、幹事にならない委員(協力委員)を若干名認める。なお、支部幹事は幹事会への出席義務が生じる。
- ・ 行政連携委員会には、行政職の特任幹事を認める。

委員会	現員数 ※1, ※2	次年度の変更	定員※1
企画総務委員会	9名	10名	支部長, 副支部長, 各委員会委員長, 開 催担当校委員(前年 度と今年度)
行政連携委員会	4名+[5名]		4名+ [5名] 程度
国際交流委員会	4名		4名
情報管理委員会	2名		2名
研究活動委員会 地域再生まちづくり小委員会	5名+[2名]		5名+ [2名]
研究活動委員会 公共交通研究小委員会	8名		8名

- ・ ※1：委員会を兼務する場合は、この表の上方にある委員会で定員に数える。
- ・ 定員数は、2021年度支部通常総会の資料に記載。
- ・ ※2：2021年4月4日現在。[]内の数字は、協力委員・特任幹事の数

<<参 考>>

○年度別 中部支部研究発表会・研究活動交流会 開催場所(予定)

※2023年以降の開催担当校は変更の可能性あり。ただし開催県は、原則としてこの表に従う。

■これまでの研究発表会開催地						
和暦	西暦	回	開催地	開催場所	開催担当校	開催県
H12	2000	第11回	愛知県豊田市	名鉄トヨタホテル	愛知工業大学	愛知
H13	2001	第12回	岐阜県可児市	可児市福祉センター	名城大学	岐阜
H14	2002	第13回	愛知県春日井市	ホテルプラザ勝川、ルネック	中部大学	愛知
H15	2003	第14回	石川県金沢市	金沢市文化ホール	金沢大学	石川
H16	2004	第15回	愛知県名古屋市	大同工業大学清春キャンパス	大同工業大学	愛知
H17	2005	第16回	福井県福井市	福井県国際交流会館	福井大学	福井
H18	2006	第17回	愛知県尾張旭市	名古屋産業大学文化センター	名古屋産業大学	愛知
H19	2007	第18回	岐阜県岐阜市	岐阜市生涯学習拠点施設ハートフルスクエアG	岐阜大学	岐阜
H20	2008	第19回	愛知県名古屋市	名古屋工業大学	名古屋工業大学	愛知
H21	2009	第20回	愛知県豊橋市	豊橋商工会議所	豊橋技術科学大学	豊橋・浜松
H22	2010	第21回	愛知県名古屋市	名城大学天白キャンパス	名城大学	愛知
H23	2011	第22回	三重県四日市市	じばさん三重	四日市大学	三重
H24	2012	第23回	愛知県名古屋市	中部大学名古屋キャンパス	中部大学	愛知
H25	2013	第24回	石川県鳳珠郡穴水町	穴水さわやか交流館フルート	金沢大学	石川
H26	2014	第25回	愛知県名古屋市	名古屋学院大学名古屋キャンパス 白鳥学舎	名古屋学院大学	愛知
H27	2015	第26回	岐阜県岐阜市	岐阜大学サテライトキャンパス	岐阜大学	岐阜
H28	2016	第27回	福井県福井市	福井市地域交流プラザAOSSA	福井大学	福井
H29	2017	第28回	愛知県豊田市	豊田産業文化センター	豊田工業高等専門学校	愛知
H30	2018	第29回	愛知県東海市	東海市市民活動センター	大同大学	愛知
R1	2019	第30回	静岡県浜松市	静岡文化芸術大学	静岡文化芸術大学	豊橋・浜松
R2	2020	第31回	愛知県名古屋市	名古屋都市センター(Covid-19のため)	名古屋工業大学	愛知
R3	2021	第32回	富山県富山市	大学コンソーシアム富山	富山大学	富山
R4	2022	第33回	愛知県春日井市	中部大学春日井キャンパス	中部大学	愛知
R5	2023	第34回			三重大学	三重
R6	2024	第35回			名古屋大学	愛知
R7	2025	第36回			金沢大学	石川
R8	2026	第37回			日本福祉大学	愛知
R9	2027	第38回			岐阜大学・岐阜高専	岐阜
R10	2028	第39回			福山女子聖母大学	愛知
R11	2029	第40回			福井工業大学	福井
R12	2030	第41回			名城大学	愛知
R13	2031	第42回			豊橋技術科学大学	豊橋・浜松
R14	2032	第43回			豊田工業高等専門学校	愛知
R15	2033	第44回			富山大学	富山
R16	2034	第45回			大同大学	愛知
R17	2035	第46回			三重大学	三重
R18	2036	第47回			名古屋工業大学	愛知
R19	2037	第48回			金沢大学	石川
R20	2038	第49回			中部大学	愛知
R21	2039	第50回			岐阜大学・岐阜高専	岐阜
R22	2040	第51回			名古屋大学	愛知

<<参 考>>

○研究活動委員会(2021年度～2022年度) 活動の目的

地域再生まちづくり小委員会

- ・都市縮小と持続可能な発展に加え、災害の頻発、コロナ禍等への早急な対応が求められていることを踏まえ、適正な集約化の計画とその実行性について、自治体職員や市民を交えた議論を通して追求する。現場主義に基づき、視察や見学会の場を通して知見を蓄積するとともに、各自治体が抱える地域課題解決に向けた支援も視野に入れた活動を行う。
- ・地域の都市計画遺産の発掘や学習を通し、歴史的地物の継承のあり方と知見の共有化を進める。

公共交通研究小委員会

交通 IC カードデータや GNSS, Wi-Fi, Bluetooth 技術を活用したデータ収集などいわゆる「交通ビッグデータ」の蓄積・整備が進みつつあることを踏まえ、公共交通ネットワークの維持／形成／評価／改善に向けた交通ビッグデータの活用方法について学術・実務の両面から検討するとともに、分析技術の普及に向けた取り組みを行う。